

北海道地域農業研究所の理事長就任にあたって

一般社団法人 北海道地域農業研究所 理事長 長谷川 幸 男

七年間理事長を務められた藤田前理事長のあとを受け、このたび理事長に選任されました。

北海道地域農業研究所は農業の振興にかかわる諸問題を地域の視点から独自に研究し、J Aや行政の地域振興策の樹立と実践を積極的に支援するシンクタンクとして設立され、今年で二三年目を迎えます。

この間、全道各地のJ Aや市町村が取り組む地域農業振興計画の策定支援はもとより、数多くの調査研究に取り組んできました。一例をあげれば、T P Pに参加すると北海道農業・農村の持つ多面的機能一兆二、五八一億円が損なわれるといわれますが、この数値（本道農業・農村の多面的機能一兆二、五八一億円）は、北海道農政部の委託を受けて当研究所が評価、定量を行った額であります。また、本年三月には『新北海道農業発達史』を発刊しました。一九六一年の農業基本法制定以降の北海道農業の展開の軌跡を論述し、その間の北海道農業の発展のべく

トルを検証しており、T P P交渉など先行き不透明な情勢の中、今後の本道農業の方向性や食料供給に果たす本道農業の役割の可能性を示唆する内容となっています。T P P推進派を含め、多くの方々にぜひ読んでいただきたい本であります。

農業環境は厳しさを増していますが、こうした時だからこそ地域農業の歴史と実態を踏まえた北海道農業発展の道筋を明らかにすることが求められており、当研究所のシンクタンクとしての役割発揮が求められていると思います。

藤田前理事長は退任にあたり、後任には、知力、体力、腕力のある方にお願したいといわれました。体力と健康には自信があります。知力については、当研究所の特色である産官学各界の方々の素晴らしい知恵と力を結集して、力を合わせて研究所の働き取りを行って参りたいと考えております。明るく、元気に、私の目指す方向であります。

これからは地方・地域の時代です。どうか、地域が明るく元気になるように当研究所へのご支援をよろしくお願いし、就任のご挨拶いたします。



新しい役員体制の発足

平成二五年五月の第二三回（平成二五年度）通常総会にて役員が選任され、その後の第三回理事会にて理事長、副理事長並びに常勤理事が互選されました。新理事長に副理事長の長谷川幸男が、新しい副理事長に小野寺仁がそれぞれ就任し、藤田久雄前理事長は顧問に就任いたしました。

理事長	長谷川 幸男（新任）	北海道農業協同組合中央会 副会長
副理事長	小野寺 仁（新任）	ホクレン農業協同組合連合会 代表理事副会長
専務理事	黒河 功博	一般社団法人 北海道地域農業研究所 所長、北海道大学名誉教授
常務理事	入江 千晴	一般社団法人 北海道地域農業研究所 専務理事
理事	坂下 明彦	一般社団法人 北海道地域農業研究所 常務理事
理事	岩崎 徹	北海道大学 大学院農学研究院 教授
理事	勝浦 昇	札幌大学 経済学部 教授
理事	西浦 一司	北海道信用農業協同組合連合会 経営管理委員会副会長
理事	青山 哲己	北海道厚生農業協同組合連合会 代表理事副会長
理事	北山 良治	全国共済農業協同組合連合会北海道本部 本部長
理事	大野 稔彦	北海道町村会理事、奈井江町長
理事	麻田 信二	公益財団法人北海道農業公社 常務理事
理事	東田 俊明（新任）	生活協同組合 コープさっぽろ 理事会常任議長
理事	望月 健太郎（新任）	農林中央金庫 札幌支店長
理事	石川 治徳（新任）	全国農業協同組合連合会 北海道・東北地区担当部長
代表監事	佐々木 環	ホクレン農業協同組合連合会 代表理事専務
監事	鈴木 雅博	北海道農業共済組合連合会 会長理事
		十勝池田町農業協同組合 代表理事組合長